

家庭学習の手引き 北条小学校 3・4年

3・4年生はこんな時期

- ・好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- ・自立心が芽生え、自分でやってみようとするものが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- ・みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- ・家族や周りの人の温かい助言や励ましの言葉が、「やる気」を起こさせます。
- ・宿題をみるなど手助けして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。

◇認めて、ほめて、自信をつける 中学年◇

学校の主な学習内容

- ・3年から「生活科」がなくなり、「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習の内容が大きく広がります。外国語活動を週1回行います。
- ・地図帳、国語辞典や漢字辞典などを使い、自分で調べる学習が多くなります。
- ・新しい漢字をたくさん習います。新出漢字は、3・4年とも、約200字です。
- ・算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学びます。
- ・四則計算(+、-、×、÷)の基礎・基本を学びます。
- ・1・2年生での、反復・継続「くりかえし学習」の習慣づくりがおおいに役立ちます。

家庭学習 こんな内容・方法で

- 国語 音読** ・毎日、声を出して読みましょう。はっきりとした声、句読点で適切な間を取りながらすらすら読む、場面の様子を考えながら読むことを意識して練習しましょう。内容の理解が深まるとともに、様子や気持ちが伝わる読みへ変わってきます。
- 漢字** ・学校で使っている漢字ドリルなどを使って、一画ずつ丁寧に書きましょう。
- 算数 計算** ・正しい筆順で「とめ、はね、はらい」に気をつけて練習しましょう。
- ・計算の順序や方法が正しく身につくよう、毎日少しずつ練習しましょう。
- ・筆算では位をそろえて書き、手順を確かめながら、まずは正確に、次第に速くできるように励みましょう。
- ・習った単位の記号の書き方や形・大きさ、他の単位への換算を正しくしましょう。
- 生活の中でも、その量感が養えるようにしましょう。

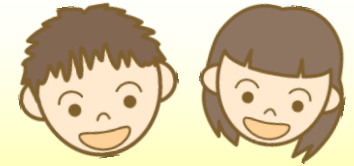


自主学習にもチャレンジ

- ・興味を持ったものや事柄、出来事について調べる。
 - ・国語辞典や漢字辞典の使い方や調べ方に慣れる。
 - ・教科書や地図帳で都道府県や主要都市の位置や名前を確かめたり、地図記号を調べたりする。
 - ・リコーダー、鍵盤ハーモニカの練習をする。 など
- “学習への意欲を高め、自ら学ぶ”習慣を身につけましょう。

家庭学習の意義

- 1 学校で学習した内容をより確かにします。
- 2 家庭での学習習慣が身につきます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や学習に対する自信が身につきます。
- 4 脳が活性化し、鍛えられます。
- 5 がまん強さ・根気・集中力が身につきます。
- 6 家族がふれあう機会となり、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。



規則正しい生活習慣

「学力」の向上には「体力」が必要です。

- 1 「早寝・早起き・朝ご飯」の支援をお願いします。
- 2 毎日、少しずつでも運動ができるよう声かけをお願いします。
- 3 テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう。

宿題

子どもの力にあった内容や量になっているか、必要なときは、担任の先生と相談してみましょう。

他の子と比べるのではなく、昨日の我が子と比べ、ちょっとしたがんばりや成長に気づき、認めてほめるようにしましょう。

自主学習

自主学習の手引きを参考にして、主体的に取り組みましょう。

読書

家族全員が本への親しみが持てるようにしましょう。いろいろなジャンルの本をすすめましょう。

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 学校からの連絡やお便りを保護者に手渡し習慣をつけさせましょう。
- 今日の宿題と明日の学習準備を自分で確かめさせましょう。

- 1 決まった時刻に学習する。
 - 2 集中して学習する。(時間のめやす 45分以上)
 - 3 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
 - 4 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
 - 5 日記を書く。
 - 6 前日に学校へ行く準備をする。(鉛筆をけずる。・連絡帳を見て持ち物の用意をする。)
- ※ 宿題以外の学習にも挑戦させましょう。
- ※ 毎日、連絡帳と「音読カード」にサインをお願いします。



鉛筆の正しい持ち方

正しく持つことで、字を書くスピードや持続力がぐんと伸びます。